

第1回 北区岩淵周辺地区 かわまちづくり計画協議会

令和6年5月25日

北区まちづくり部まちづくり推進課

令和6年度 第1回 北区岩淵周辺地区かわまちづくり計画協議会

次 第

日時 令和6年5月25日（土） 10時～12時
場所 荒川下流河川事務所1階 アモアホール

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 区長・副区長挨拶
4. 委員紹介
5. 会長・副会長の選出
6. 議事
 - （1）北区岩淵周辺地区かわまちづくり計画の策定について
 - （2）北区岩淵周辺地区かわまちづくり計画の対象エリアについて（まちあるき）
7. 次回の日程について
8. 閉会

目次

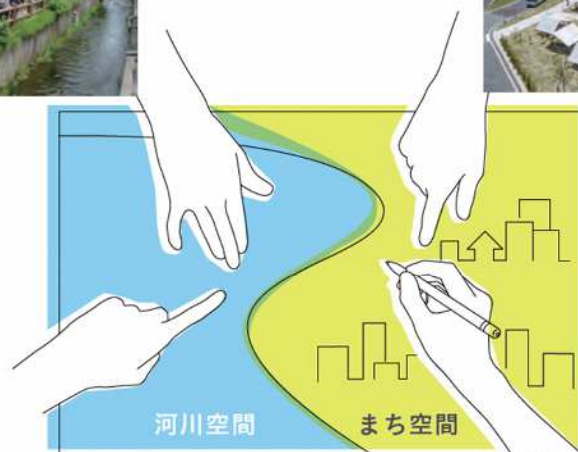
1. **かわまちづくりとは**
2. **かわまちづくり計画協議会の目的・役割**
3. **かわまちづくり計画策定の目的**
4. **かわまちづくり計画の位置付け**
5. **かわまちづくり計画 対象エリアの考え方**
6. **これまでの経緯**
7. **他自治体の取り組み事例**
8. **今後のスケジュール**

1. かわまちづくりとは

かわまちづくりとは・・・

河川空間と**まち空間**が融合した、
良好な空間形成を目指す取り組み

水辺の利活用を
通じた地域の
交流機会の増加



「かわ」「まち」が
一体となり、
新たな価値を創出、
地域力の向上

「かわ」ならではの
魅力創出で
来街者の促進



1. かわまちづくりとは

かわまちづくりで実現できる風景



カヌー・SUP



環境学習・自然体験



キャンプ・バーベキュー



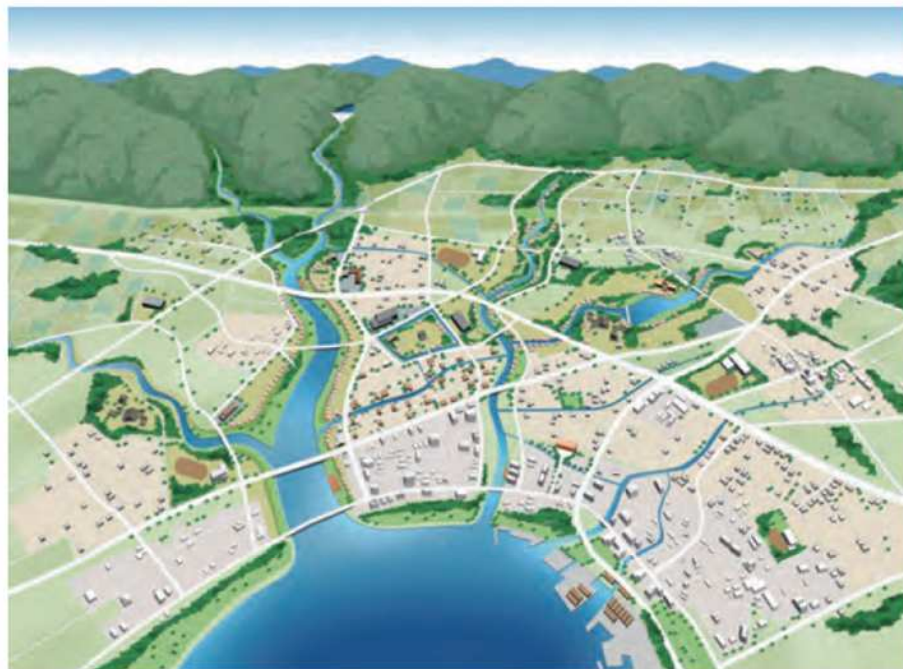
ウォーキング・ジョギング



サイクリング



観光舟運



川床



イベント(アート、上映会)



桜並木



マルシェ・朝市・夜市



公園広場



集客施設



オープンカフェ



隣接施設連携(公園、道の駅)



市街地開発



川の安全教室

出典：かわまちづくり計画策定の手引き（国土交通省）

1. かわまちづくりとは

「かわまちづくり」は多様な主体が連携するため、その取り組みを進める過程で、地域の様々な課題解決につながるなど、多くの効果が期待できます。

その①

「かわ」と「まち」の
新たな可能性（地域資源）
の発見・発掘につながる



その②

関係主体の
ネットワーク形成
につながる



その③

地域の
将来像の共有
につながる



その④

地域の
課題解決
につながる



その⑤

地域の
シビックプライドの
醸成につながる



2. かわまちづくり計画協議会の目的・役割

✓かわまちづくり計画協議会

かわまちづくり計画を推進する推進主体

✓かわまちづくり制度登録の流れ

①かわまちづくりに取り組む基となる、
「地域の魅力」、「アイディア」を探す

②かわまちづくり計画協議会と河川管理者
と共同で「まちづくり計画」を作成

③かわまちづくり計画の申請

制度への計画登録

「かわまちづくり」の実現



3. かわまちづくり計画策定の目的

●河川におけるこれまでの課題（一般的な事項）

1) 河川利用の減少

高度経済成長とともに、多くの河川は効率重視の排水路と化した。

河川は街並みから目を背けられ、十分に活用されてこなかった河川が多い。

2) 河川の規制

水害から市民生活を守るという観点から利用は厳しく制限されていた。

●河川活用の動き

2009年 かわまちづくり支援制度創設

2011年 河川敷地占用許可準則の改正

地域の合意を得たうえで民間事業者による営利活動などの利用が可能に

2014年 ミズベリング

水辺を活用するために官民一体プロジェクトの始動

2016年 かわまちづくり支援制度改定

計画段階から民間事業者の積極参加が可能に。また、かわまちづくり相談窓口が設立され、全国各地で「かわまちづくり」の展開が期待

かわまちづくり計画を策定し、制度を活用することで、
新しい河川の可能性を見つけ、地域独自の賑わいづくりができる

3. かわまちづくり計画策定の目的

「かわまちづくり計画」は**新しい可能性**を見出すチャンス！

子育て・学びの場として
活用したい（住民）

まちの魅力を
知ってほしい（住民）

災害時の
避難場所として
充実した設備がほしい
（住民）

まちとかわの
利用者相互の
交流を促進したい
（住民・まちづくり活動団体）

地域の特色を
活かした
新しいイベントを
やってみたい
（事業者・まちづくり活動団体）

家族や愛犬と訪れたい（住民・来街者）

かわまちづくり
で
実現の可能性が広がる

荒川河川敷でSUPや
カヌーがしたい（来街者）

川で安全に遊びたい！
（住民）

水辺へのアクセス性を
高めて
気軽に訪れたい
（住民・来街者）

水上バスに乗り
クルージング
に参加してみたい
（来街者）

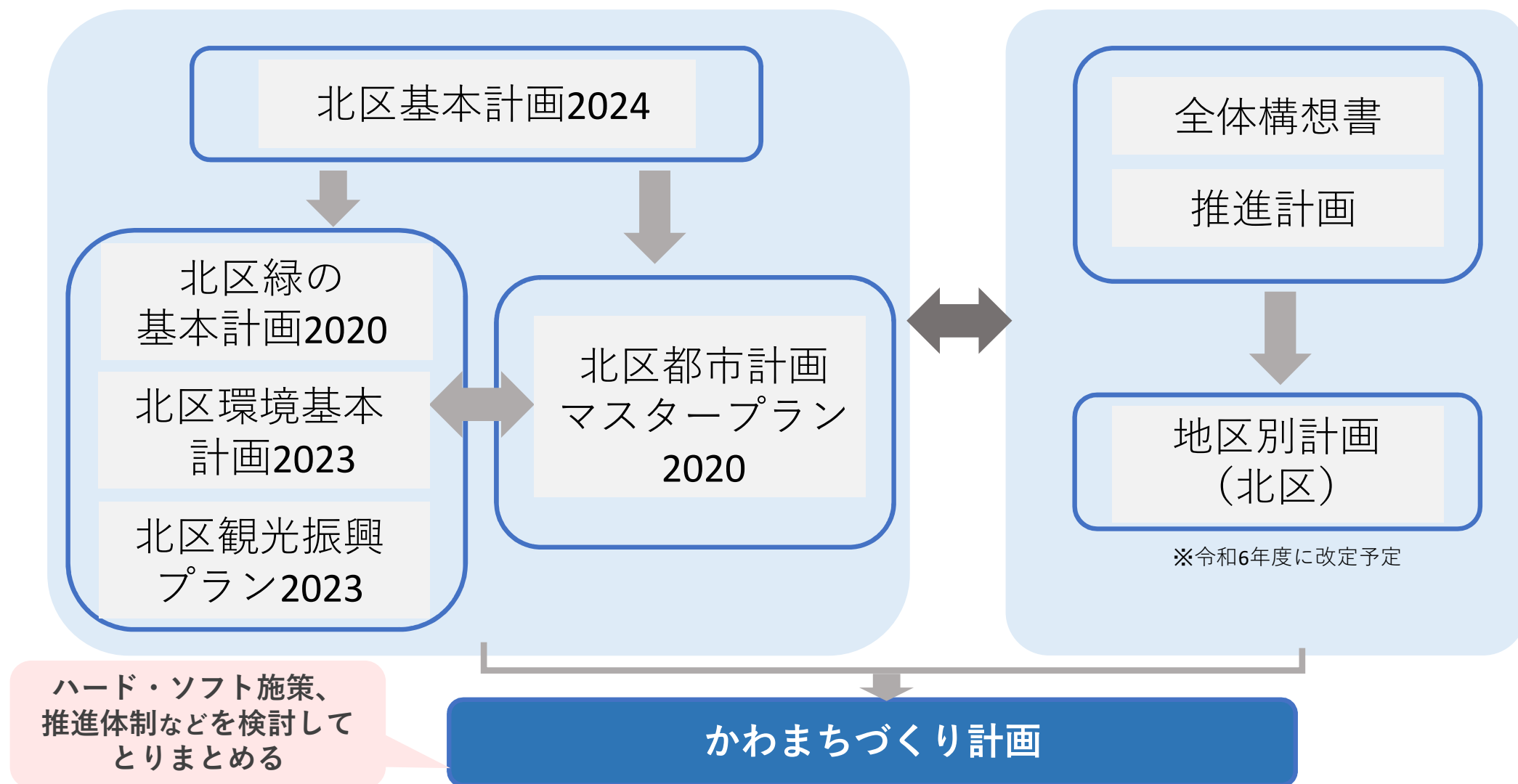
身近な自然を守り、
生き物と触れ合いたい
（住民）

4. かわまちづくり計画の位置づけ

東京都北区の上位計画、関連計画および荒川将来像計画との整合を図りながら、まちと水辺の一体的な空間の創出に向け具体的な施策に取り組む

北区の上位計画

荒川将来像計画



4. 水辺空間における計画の位置づけ

北区の 上位計画

北区ならではの個性あふれる公園や水辺空間に、
区内外から人々が集い、**新たな交流やまちのにぎわい**が生まれる姿をめざす

出典：北区基本計画2024

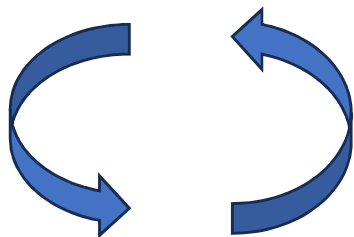
関連計画

- 水辺を活用した**身近なレクリエーション**の促進
- 河川敷の**観光活用**の充実
- 河川の**観光拠点**としての活用や観光ルート化

出典：北区観光振興プラン2023



水辺活用の様子



水上アクティビティの様子



舟運の様子

- 生物多様性**の保全
- 自然体験**や**環境学習**の場
- 開放的な**レクリエーション空間**としての活用を促進

出典：北区緑の基本計画2020

- 環境教育・環境学習**の推進

出典：北区環境基本計画2023

北区都市計画 マスタープラン

水辺やみどりの魅力を
活かした**にぎわいづくり**

水辺とみどりの
交流エリアの形成

多様な主体による
水辺やみどりの魅力の向上

生物多様性向上による
生態系の保全・再生

水辺やみどりと結びついた
地域の歴史や文化の継承

回遊性向上による
地域一体となった魅力づくり

荒川河川敷周辺エリア

水辺や緑を活かした多様な活動
が行える環境づくりを促進し、
区内外から人の集まるエリアの
形成を図る

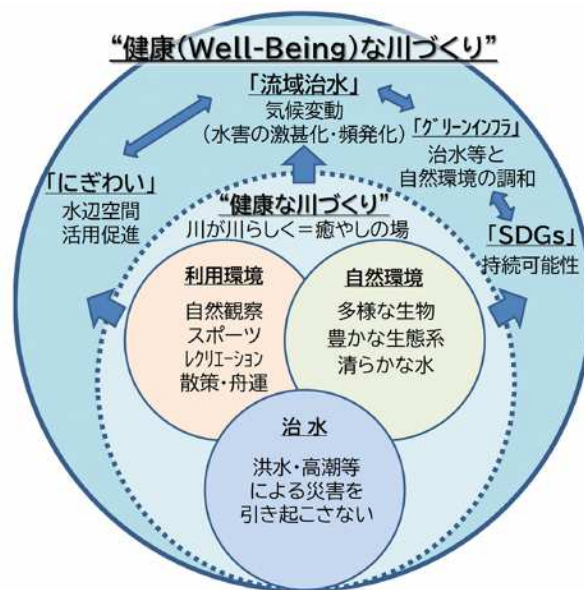
出典：北区都市計画マスタープラン2020

4. 水辺空間における計画の位置づけ

荒川将来像計画

貴重なオープンスペースである荒川について、自然環境の保全・創出と利用のバランスがとれた将来の姿を示した計画。

2024.1に全体構想、推進計画を改定。地区別計画を改定検討中。



将来像計画の理念

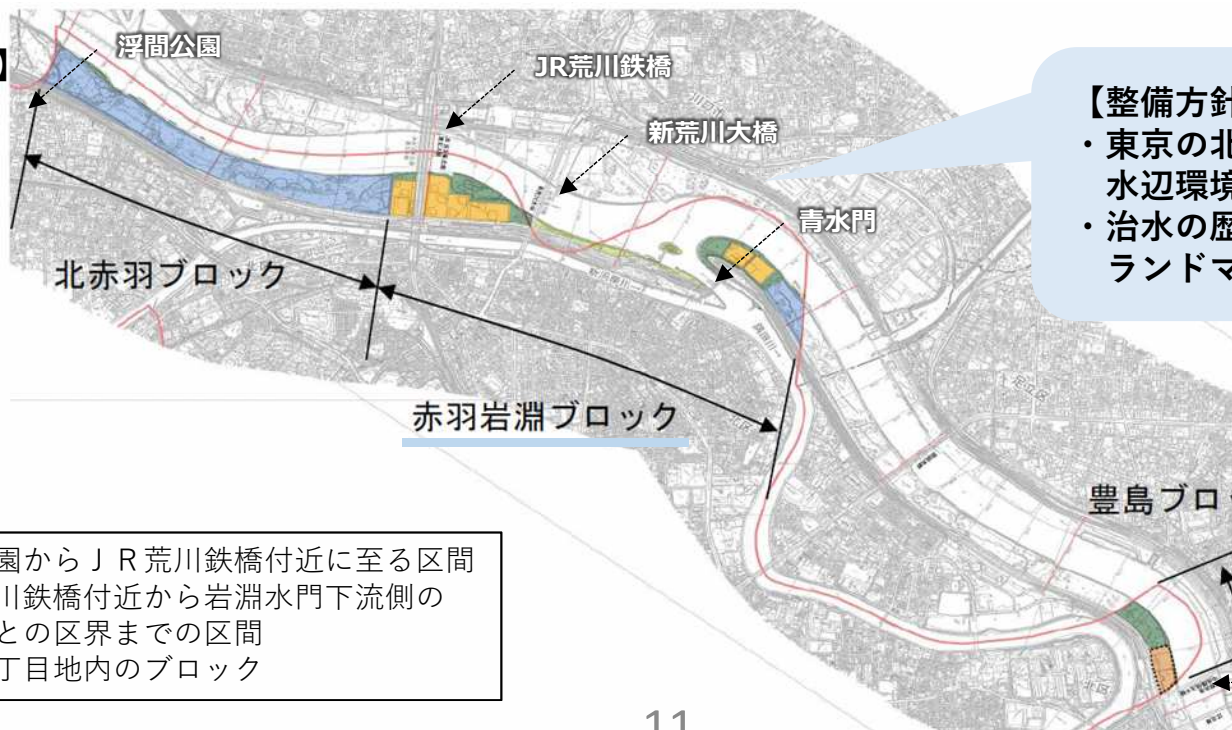
- ・多くの生き物を育む荒川
- ・河川空間の節度ある利用ができる荒川
- ・安心して快適な暮らしができる安全な荒川
- ・あらゆる人が川と触れ合い、あらゆる人がくつろげる荒川
- ・きれいで豊かな水が流れる荒川

出典：荒川将来像計画全体構想書

地区別計画（北区）

【整備方針 北赤羽ブロック】

- ・自然地機能を有したゴルフ場の形成
- ・干潟の保全など
- ・浮間公園、河川防災ステーション等との連携
- ・河川防災ステーションの平常時の活用



【整備方針 赤羽岩淵ブロック】

- ・東京の北の玄関口としての水辺環境整備
- ・治水の歴史を感じるランドマークとしての空間整備

【整備方針 豊島ブロック】

- ・干潟と自然地の再生
- ・隅田川との一体的な利用の推進

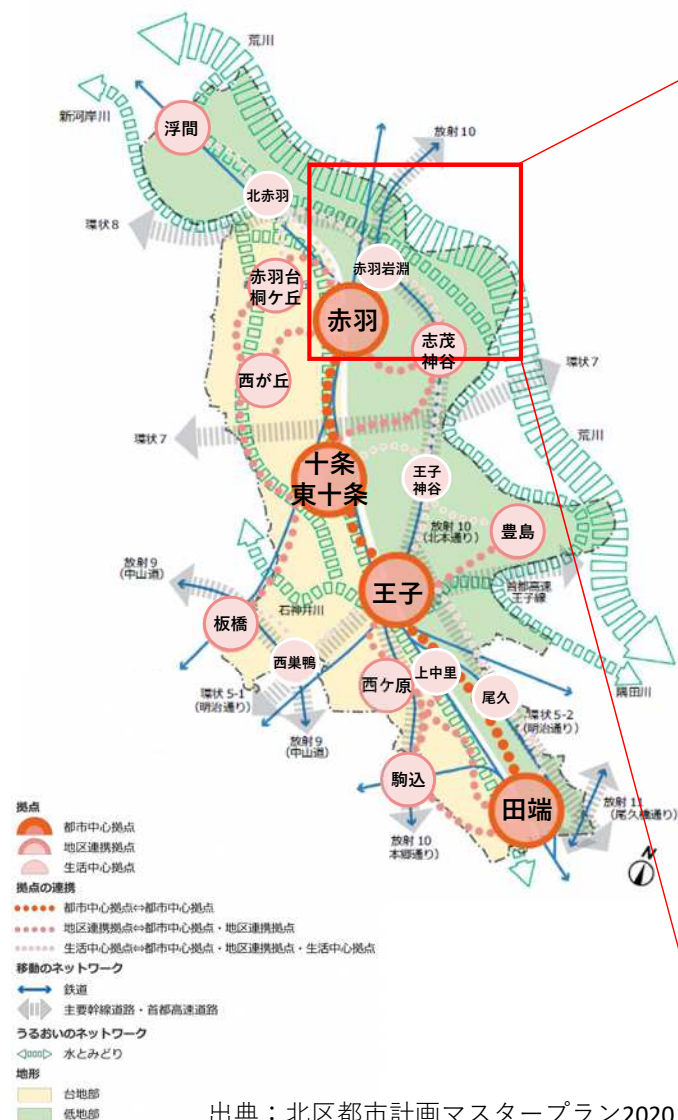
北赤羽ブロック：浮間公園からJR荒川鉄橋付近に至る区間
 赤羽岩淵ブロック：JR荒川鉄橋付近から岩淵水門下流側の足立区との区界までの区間
 豊島ブロック：豊島五丁目地内のブロック

5. かわまちづくり計画 対象エリアの考え方

対象エリア

荒川：赤羽岩淵ブロックを中心としたエリア

まち：赤羽、岩淵町、志茂（荒川から赤羽岩淵駅周辺）



出典：北区都市計画マスタープラン2020

5. かわまちづくり計画 対象エリアの考え方

●“かわ”側について



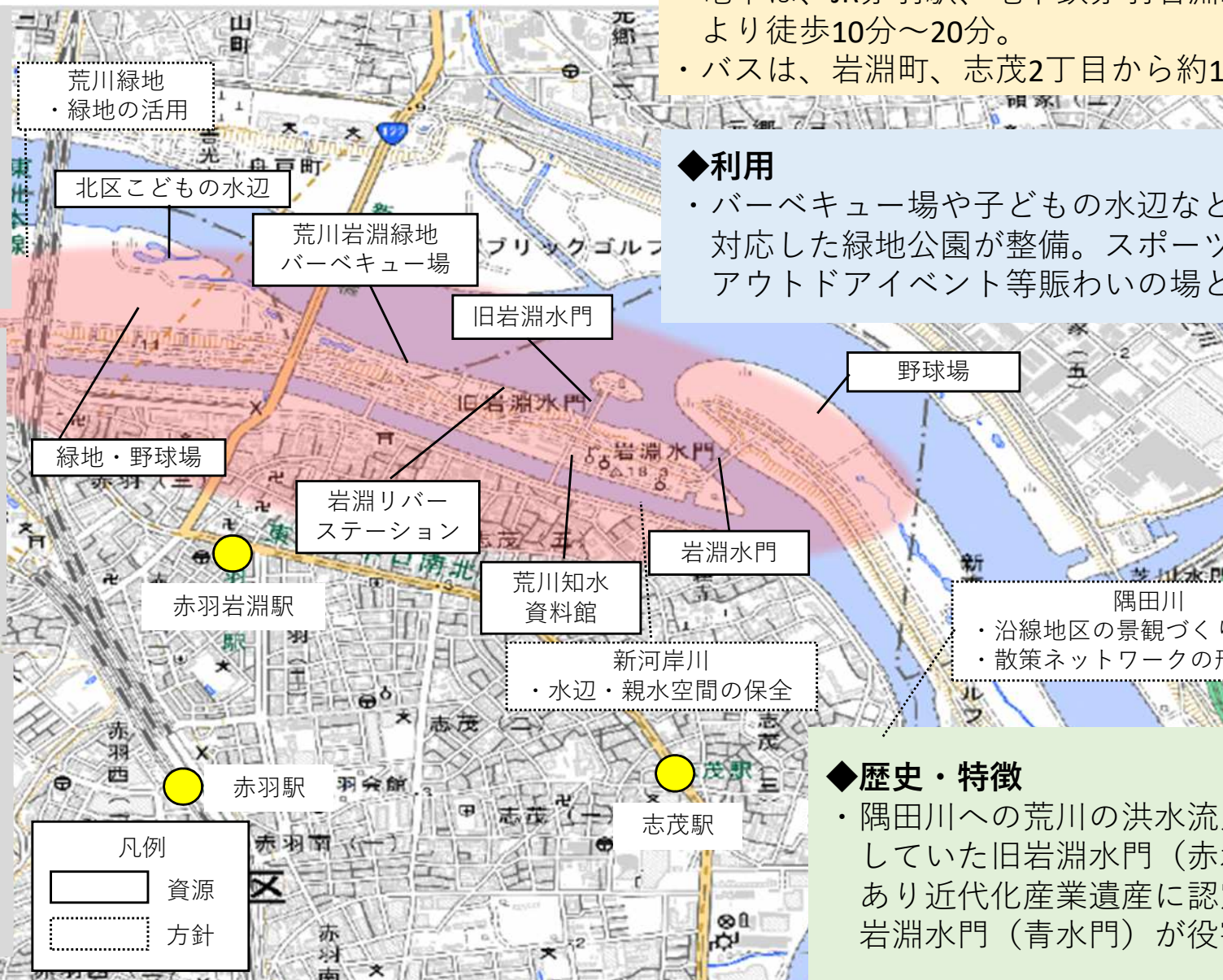
新旧岩淵水門（青水門・赤水門）



自然体験や教育の場



荒川緑地と防災船着場



◆交通・アクセス

- ・電車は、JR赤羽駅、地下鉄赤羽岩淵駅・志茂駅より徒歩10分～20分。
- ・バスは、岩淵町、志茂2丁目から約10分。

◆利用

- ・バーベキュー場や子どもの水辺など、多目的に対応した緑地公園が整備。スポーツや花火大会、アウトドアイベント等賑わいの場として活用。

◆歴史・特徴

- ・隅田川への荒川の洪水流入を制限していた旧岩淵水門（赤水門）があり近代化産業遺産に認定。現在は岩淵水門（青水門）が役割を担う。

5. かわまちづくり計画 対象エリアの考え方

●“まち”側について



八雲神社



熊野神社の白酒祭



リノベーションの動き

◆交通・アクセス

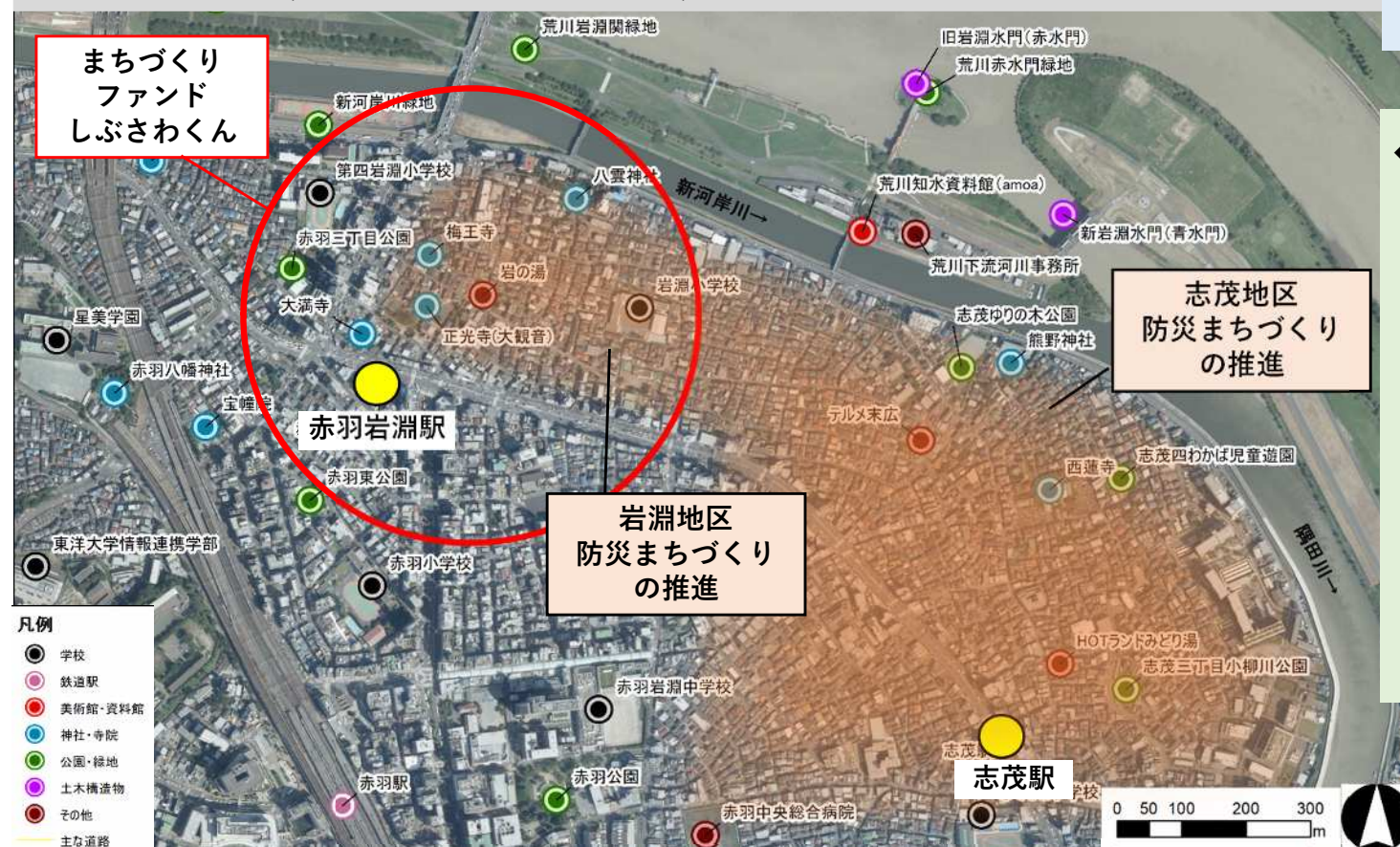
- 赤羽駅からJRが南北に、地下鉄赤羽岩淵駅、志茂駅から地下鉄が東西に走る。

◆利用

- まちの歴史や文化を感じられる地域資源が残る、身近な水辺に恵まれた市街地。

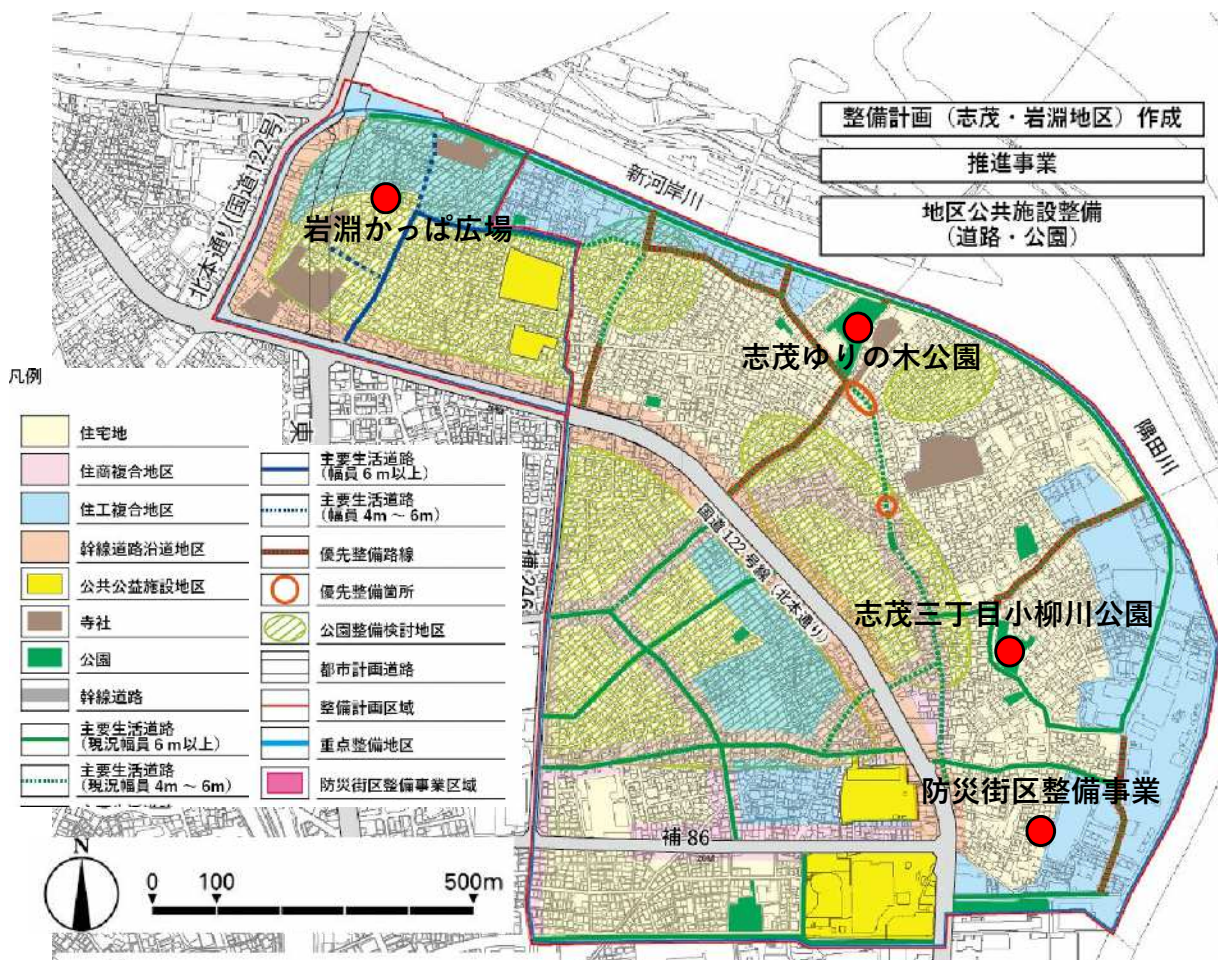
◆歴史・特徴

- 江戸時代、日光御成道が荒川を川口へと渡る宿場町、岩淵宿として栄え、関東大震災復興による関東大震災復興による市街地化、戦後の土地区画整理事業等により街並みが形成。
- 北区指定無形民俗文化財に指定されている白酒祭が行われる志茂熊野神社や岩淵宿鎮守であった八雲神社などが残る。
- 志茂地区における防災まちづくりの推進、隅田川沿線地区の景観づくりの推進等が図られている。



5. かわまちづくり計画 対象エリアの考え方

●“まち”側について



◆防災まちづくり事業の推進

- 老朽住宅等が密集している防災性の向上や居住環境の改善が必要な区域において建物の不燃化を、より一層推進するほか、防災広場等の整備、避難路となる道路の拡幅の推進を通じ「燃え広がらない・燃えない」まちづくりを推進。

志茂三丁目9番地区防災街区整備事業



◆まちづくり協議会の設立

- 志茂地区は防災性能と居住環境の向上、安全で住みよいまちづくりの推進を目的に平成18年設立。
- 岩淵町地区は防災上の課題解決に向け令和4年に設立。まちづくり協議会で検討を進めた、「岩淵かっぱ広場」をリニューアルオープン。



6. これまでの取組み実績

●荒川における利活用状況

北区・子どもの水辺

(2001年～2024年)

- ・子どもたちが自然に親しむことができる環境の創出
- ・かいぼり等ワンドの管理、保全活動の実施
- ・ガイドツアー
(カニとり等の自然体験等)
- ・干潟のごみ拾い
- ・水質調査、魚類調査 等

荒川岩淵関緑地バーベキュー場

荒川河川敷ドローンテストフィールド (2021年～2022年)

隅田川道中 (2022年)

- ・舟運、マーケット等

マラソン大会

水辺フェスタ赤羽岩淵

(2017年～2018年)

- ・荒川マルシェ
- ・防災体験
- ・ミニクルーズ 等

AKABANE PICNIC FESTA

(2022年～2024年)

- ・キャンプ、サウナ
- ・amoaカフェ
- ・音楽ステージ
- ・防災体験、水門ツアー 等

岩淵水門ライトアップ

北区花火会 (2012年～2024年)

音楽イベント



7. 他自治体の取り組み事例

● キャンプ利用

➤ 愛知県岡崎市 乙川

■ ハード整備

船揚げスロープ、テラス、プロムナード（堤防道路）、河川敷遊歩道、階段（高水部）、橋の整備など



テラス

写真：ONE RIVER HPより引用



河川敷遊歩道

写真：MIZBERING HPより引用



桜城橋

写真：QRUWA HPより引用

■ ソフト整備

河川占用の規制緩和により、河川空間でのカフェや観光船運行等民間事業が連携するプロジェクトの実施

■ キャンプ利用の活用例

民間の参入により、河川敷は期間限定の週末キャンプ場として活用されている。河川敷かつ町に近く、焚火等のサービスを導入することで人気を集めている。



キャンプイベントの様子

出典：乙川リバーフロント地区「かわまちづくり」計画（岡崎市）
川で遊び、川に学び、川と暮らす「おとがワ！ンダーランド」（国土交通省）

● 水辺のオープンカフェ

➤ 広島県広島市 太田川水系

■ ハード整備

親水護岸の整備や川の駅等にぎわいの拠点づくりなど



親水護岸

写真（親水護岸、川の駅）：広島市HP（水の都ひろしま構想概要版）より引用



川の駅

■ ソフト整備

「水の都ひろしま」を掲げ垣根を超えた連携のもと、遊覧船の運行やカフェ、学習プログラムや環境整備、水辺イベントでの活用促進を積極的に実施。

■ カフェ利用の活用例

日本で初めて、河川区域で民間事業者による常設カフェを設立。出展者から預かる協賛金を環境整備に活用する等カフェの集客を図るとともに、地域の景観向上にも還元。



水辺のオープンカフェの様子

出典：かわまちづくりホームページ かわまちづくり大賞（国土交通省）

7. 他自治体の取り組み事例

●水上アクティビティ

➤ 徳島県徳島市 吉野川水系新町川・助任川

■ハード整備

遊歩道や船着き場、川の駅やLED景観整備など



写真：徳島市HPより引用



写真：平成26年4月3日 記者発表資料
(国土交通省四国地方整備局)より引用

■ソフト整備

河川占用の規制緩和により、河川敷イベント広場やオープンカフェの利用促進等フォローアップの推進を実施

■水上アクティビティの活用例

護岸や歩行路整備によりアクセス性が向上し、カヌー等の水上アクティビティ利用が盛んに行われている。



カヌーイベントの様子

●水辺のイベント

➤ 千葉県松戸市 坂川

■ハード整備

親水広場の整備や遊歩道の整備など



親水広場（献灯まつり）



遊歩道（献灯まつり）

写真：徳島市HPより引用

■ソフト整備

河川清掃の実施や地域が中心となった祭りの継続開催

■水辺イベントの活用例

河川が持つ水と緑の空間と、地域の歴史的価値を結び付け、整備された広場等を活用した新たなイベントの開催がまちの魅力となり、地域内外の人が集う賑わい空間が創出。



イベント開催の様子

出典：かわまちづくりホームページ かわまちづくり大賞・かわまちづくりMAP（国土交通省）

8. 今後のスケジュール

令和6年度 スケジュール

- 第1回協議会 R6.5.25

本日！

- ・かわまちづくりのイメージの共有
- ・活用アイデアについての意見交換

- 第2回協議会 R6.7

- ・ソフト・ハード施策に関する意見交換

- 第3回協議会 R6.10

- ・パブリックコメントに向けた素案の確認

- パブリックコメント 実施

- ・計画案について広く区民の意見収集を実施

- 第4回協議会 R7.3

- ・協議会の議論とパブリックコメントの意見を踏まえた「かわまちづくり計画（案）」の確認
- ・今後の方針と予定の確認

令和7年度 スケジュール

- かわまちづくり計画 申請

- ・申請受付期間
4月23日～6月21日（R6年度）

- かわまちづくり計画審査

- かわまちづくり計画登録 R7.8

目標